

経営情報 2018.3月度

Monthly Report

よい朝のために。
KYORITSU
 HOTELS & DORMITORIES

(東証1部 コード9616)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。経営情報MonthlyReportは、株主様、及び以前弊社株式を保有されたことのある方をはじめ、弊社関係者の皆様に、より弊社をご理解いただくとともに、皆様のご意見を経営に反映させていただくことを目的として、掲示させていただいております。

共立メンテナンスグループ

セグメント別(事業別) 売上状況等(本決算)

当社グループは、当連結会計年度を初年度とする5ヶ年の中期経営計画「Kyoritsu Jump Up Plan」の骨子である「顧客満足度の向上」及び「開発の先行的実施」を着実に推進いたしました。また、新たなブランディングの発信としてコーポレートスローガンの刷新、コーポレートシンボルの策定をし、企業認知の向上にも努めてまいりました。

当期は寮事業が安定的に利益を伸ばしたことに加え、ホテル事業におきましては新規オープンした13棟の開業費用等約18億円の発生の影響もありましたが、稼働率、客室単価が共に前期を着実に上回って好調に推移した結果、開業費用等を吸収して増益となりました。

この結果、売上高は152,021百万円(前期比11.9%増)、営業利益は13,087百万円(前期比10.8%増)、経常利益は12,928百万円(前期比12.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は8,778百万円(前期比23.0%増)となりました。これにより平成30年2月9日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正をも大きく上回り、順調な滑り出しとなりました。なお、当期純利益には韓国ドミーインにおきまして、韓国内での認知度向上や収益改善を進めつつあるものの、財務健全性確保の観点から、保有資産について減損損失4億48百万円を特別損失に計上いたしました分も吸収されております。

(単位:百万円)

	2017年4月～2018年3月度実績月度累計		
	当期実績	前期比%	前期実績
寮事業	47,052	103%	45,644
ホテル事業	70,160	116%	60,408
総合ビルマネジメント事業	14,877	93%	15,953
フーズ事業	6,732	104%	6,498
デベロップメント事業	22,450	98%	23,007
その他事業	11,845	106%	11,172
合計	173,118	106%	162,684
(調整額)	△ 21,097	79%	△ 26,856
四半期連結損益計算書計上額	152,021	112%	135,828

注) 本報告書の財務数値は、監査法人による会計監査を受けておりません。比較数値は小数点第1位四捨五入とします。使用している数値は速報値であり、後日確定するものと差異が出る可能性があります。

単月売上高
(百万円)

グループ全体売上高推移

累計売上高
(百万円)

